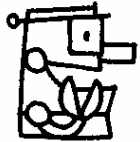


小 / 理科 / 6年 / 生物と環境 /  
人と動物の体 / 理解シート

## 人間の骨の中で最大の骨、最小の骨はなんなの



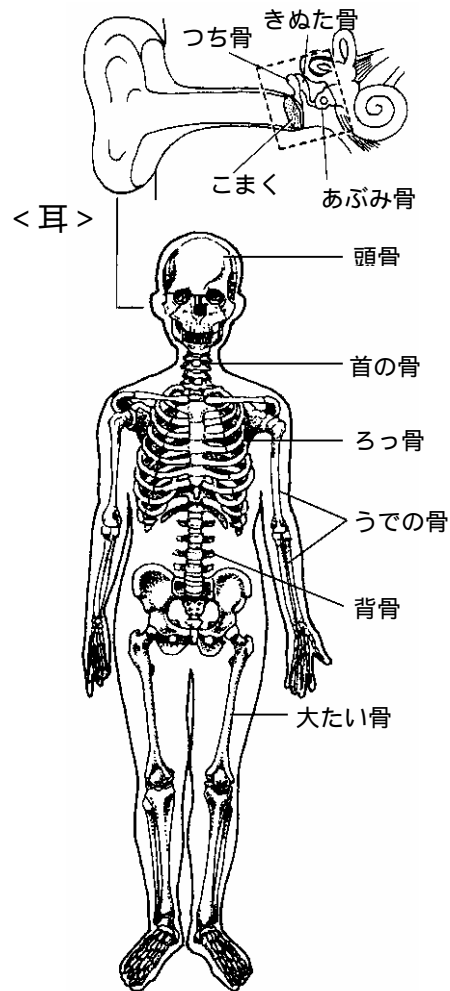
最大なのは、太ももの骨、いちばん小さいのは、耳のこまくの近くにある、長さが約3mmのあぶみ骨さ。

### 最大の骨は、大たい骨

人体の骨の数は、およそ200個といわれています。脳をつつんで守っている頭骨、胸を広げたりすぼめたりする役目のろっ骨、やわらかい内臓を守っている骨ばん、体をささえている背骨やあしの骨などは、みんな大きい骨です。その中でいちばん大きいのが、太ももをささえている「大たい骨」で、およそ身長<sup>の</sup>の4分の1の長さになる、ひざから足のつけ根までの骨です。

### 最小の骨は、耳小骨<sup>じしやうこつ</sup>の中のあぶみ骨

いちばん小さい骨は、耳の耳小骨といわれる骨の中の、あぶみ骨です。あぶみ骨の長さは、2.6～3.4mm、重さは0.002～0.0043グラムという小ささです。耳小骨は、3つの骨が組み合わさり、大きすぎる音は小さく、小さい音は大きくなるよう調節して、こまくの音のふるえを耳のおくに伝える役目をしています。そのうちの一つが、あぶみ骨です。



< 人体のおもな骨 >